



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y' S MEN' S CLUB

The Y's Men's Club of Kanazawa

CHARTERED JULY 9, 1947

c/o KANAZAWA YMCA 44-1-201 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998 JAPAN

- 国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」 “VALUES ,EXTENSION and LEADERSHIP”
 アジア地域会長主題 「変化をもたらそう」 “Make a difference”
 西日本区理事主題 「Let's do it now!」
 中部部長主題 「知らせよう！ワイズの奉仕活動を」
 金沢クラブ会長主題 「奉仕活動の輪を広げ、地域への認知度を高めよう！～YMCAとEMC活動の充実を～」

2020 12 月間強調 EMC-E YES

今月の聖句 (岡田 仰牧師)	12月強調月間
<p>その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。</p> <p style="text-align: center;">ヨハネによる福音書 1 章 9 節</p>	<p>次に世代、新しいクラブ設立の為に、YES 献金を 100%</p> <p style="text-align: right;">竹園憲二 EMC 事業主任 (京都 ZERO)</p>
<p style="text-align: center;">12月例会 プログラム</p> <p>と き 2020 年 12 月 17 日 (Thu.) 18:30~20:30 ところ ホテルトラスティ金沢香林坊 会 費 ¥4,500(会員は無料) ¥3,000 円(メット)</p> <p style="text-align: right;">司会 幸正 一 誠 君</p> <p>開会・点鐘 山内ミハル会長 主 題 司 会 者 ワイズソング 一 同 委員会報告 各 委 員 讚美のとき 山内ミハル会長 説 教 岡田 仰牧師 “真の光に照らされる幸い”</p> <p>食前の感謝 伊藤仁信君 親睦のとき 山内ミハル会長 メ ネット 会</p> <p>ニコニコタイム 吉川與志子さん Y M C A の 歌 一 同 閉会・点鐘 山内ミハル会長</p>	<p style="text-align: center;">11月 クラブ活動状況</p> <p>第1例会 (11月19日 Thu.) メ ン : 朝倉、伊藤、幸正、西、山内 (5名) メネット: 朝倉、伊藤、数澤 (3名) ゲスト: 出村氏、前田氏、北村君、清水さん、南君 (5名) 出席率: 100% 充足率 163% メーキャップ: 北、吉川 (2名)</p> <p>第2例会 (11月2日 Mon.) メ ン : 数澤、幸正、山内 (3名) メネット: 数澤 (1名)</p> <p>ニコニコタイム 9,000円 クラブファンド 累計 49,250円</p> <p>B F ポイント 切手 0g 累計 1,700g 現金 0円 累計 0円</p>
<p>会 長 山内ミハル 書 記 西 信之 直前会長 山内ミハル 北 肇夫 副会長 数澤輝夫 会 計 幸正 一誠 伊藤仁信 ネット会長 伊藤 悦子</p>	<p>第一例会: 毎月第三木曜日 18:30~20:30 ホテルトラスティ香林坊金沢 Tel (076-203-8111) 第二例会: 毎月1日 18:30~20:00 金沢ニューグランドホテル 2F (蔵) Tel (076-233-1311)</p>

前田利常は何故「小松」を愛したか

西 信之

加賀藩3代藩主前田利常は、幼名は犬千代で初めは利光と名乗った。息子の4代目藩主の光高の「光」は利光の字を嗣でいる。利常は、加賀藩が栄えた最大の功労者とされ、幼時は長姉が嫁いでいた前田長種（高岡の守山城主）の元で養育される。この長種はその後、小松城代として小松に移る。小松はその後、織田の家臣丹羽長秀の息子丹羽長重によって治められるが、利長が関ヶ原の戦いの帰路に長重によって金沢入りを阻まれた。人質交換和議によって利光(利常)は、丹羽長重に預けられる。この年、利長は利光(7才)を養子として迎え、翌年徳川秀忠の娘珠姫(3才)との婚儀を行う。利光11歳の時、利長は隠居し利光に家督を相続させ、利光は金沢城主として小松から移ることになる。35歳の時、義兄ながら將軍家光の名を下に持つのは恐れ多いという理由で、利常と改名する。45歳で、家督を光高に譲り、小松に戻って隠居生活を送るが、金沢時代の三十数年間は、治水や農政改革を行うと同時に、御細工所を造るなど、美術・工芸・各種芸能の振興に尽くし、將軍の義兄弟として金沢の黄金時代を築いた。又、珠姫の姉、徳川和子は後水尾院の中宮であり、天皇家とも義兄弟関係にあり、桂離宮や玉泉院丸庭園の造営に関わった小堀遠州とは、後水尾天皇のサロン仲間である。1615年に1国1城令が敷かれたにもかかわらず、將軍より特例として小松城が隠居城として認められていた。

51歳の時、光高が亡くなり、3歳の綱紀が後を継ぐが、將軍家光の命により幼い綱紀の後見人として小松から藩政を執ることになる。66歳で亡くなるまで、21年間小松城で隠居生活を送るが、前田長種や丹羽長重に育てられた小松での思い出が、利常を小松に縛り付けた要因であろう。しかし、利常は小松の豊かさを十分に知っていたと思われる。小松の尾小屋鉦山付近での金銀銅や小松城の城壁にも使われた石材や紫水晶の採掘、山中温泉奥地での古九谷焼製造等の海外貿易の好材料を得たことも重要な要因であったろう。実際、利常は海外から多数の貿易船を買い付けており、これが加賀藩謀反の寛永の危機を迎える一因となった。これは、横山康玄の幕府への弁明と、翌年の徳川光圀の

岡田 仰牧師のプロフィール

石川県生まれ。

聖書宣教会(神学舎)卒業後、金沢独立キリスト教会で奉仕。

牧会と共に、ひかり教育園の園長を務める。

姉であり家光の幼女である大姫の光高との婚儀によって収まることになる。

梯川の地形を外堀として、また、内堀の水源として最大限に利用し、実質三重の堀を備えた大城としての小松城の縄張りを図に示す。面積は、兼六園を除いた金沢城より若干広い。

尾小屋鉦山の北側の鶴川町に1772年に遊泉寺銅山が開かれたが、明治35年に土佐からやって来た吉田茂の長兄の竹内明太郎は、竹内鉦業を興して遊泉寺銅山の採掘と精錬に西欧の技術を導入し、小松駅から銅山までの鉄道を敷設、大規模な銅の精錬を行った。遊泉寺銅山の付属施設として、1917年に小松鉄工所が設立されたが、銅山自体は1920年に閉鎖された。この時、鉄工所は「小松製作所」として独立し、戦時中は軍需工場となり、戦後は国産トラクターやブルドーザーを製造し、その開発精神が今日の工作機械、鉦山機械の世界的メーカーとしてのコマツに繋がっている。利常の先見の明は、今日の小松の大きな発展をもたらしたと言って過言では無からう。

小松城の縄張り
本丸の石垣が小松高校の敷地に残されている。(下図)
三の丸の一部が、芦城公園として現在残されている。

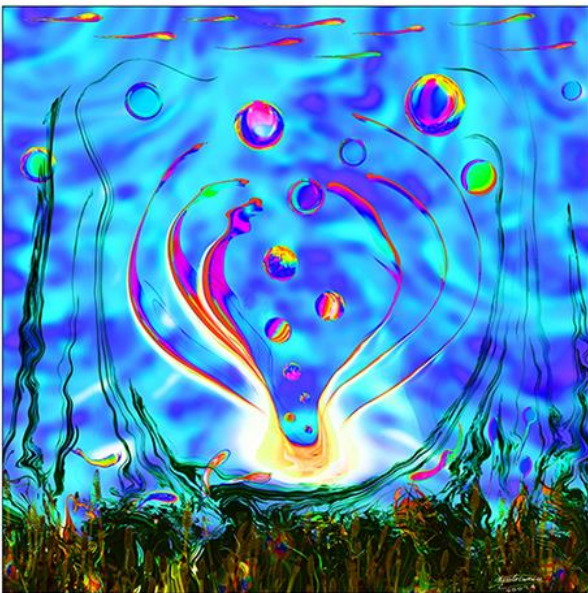


【11月例会の報告】

今月は、私の高校からの友人で写真家・現代アーティストの出村 正人氏にスピーチをお願いを致しました。出村氏は大学時代より写真に興味を示し、事有るごとにカメラを被写体に向けて撮っていた事を覚えています。そんな彼が「写真にて現代アートを表現」との作品展の案内を頂き、その話を伺いたいと思ってお願ひ致しました。以下は出村氏より頂いたレジメです。 (幸正一誠 記)

夢スタジオは創業33年の写真館です。赤ちゃんから国会議員まで人物の良さを引き出す撮影を得意としています。中でも個々のモデルに合った物語を紡ぎ出す成人式の前撮りは年中予約で埋まっており、豊富な振袖とハイレベルな美容チームが撮影を支えています。

一方で現代アート作家の顔を持つ出村正人は2007年絵画対象の損保ジャパン美術財団奨励賞を写真作品で初めて受賞しました。キャンバスにプリントし絵具で彩色した180cm x 180cmの「浮遊するわたし」はその後写真と絵画が融合する作品の先駆けとなりました。



撮影やアート作品の制作、展覧会のプロデュース等出村の感性を育んだのは「茶の世界」です。写真の師吉川悦陽は茶人でした。出村は様々な茶会の手伝いと茶人の交流に付き添い、本物を見る眼を学びました。その体験は生涯の財産となって今に生きています。

現在、全国から夢スタジオへ貴重な美術品が送られて来ます。ルノワールや写楽、歌麿に広重をはじ

め時代を越えて響く作家の魂を前に、出村は全感覚を集中し息を止めて撮影しています。

全国の美術館を巡回している富野由悠季の世界展を只今、富山県美術館で開催中 ～2021年1月24日まで。日本のアニメを世界に広げたガンダムやイディオンの原作者です。3000点のセル画、基になった富野監督の絵コンテ。赤い朱の入った原稿は生々しい。その全てを各地の美術館の学芸員等が夢スタジオに集まり2日2晩缶詰になって撮影しました。マニアには堪らない400ページの日本のアニメ界を俯瞰する貴重な図録が完成したのです。

個人の成長記録と家族の晴れ姿、日本文化を歴史に残す仕事まで勉強しながら真摯に日々撮影しています。



【12月第二例会報告】

日 時：12月1日（火）17：30～19：30

場 所：金沢ニューグランドホテル 蔵

参加者：伊藤、数澤、幸正、山内、数澤メ

協 議：

① 12月クリスマス例会への招待者を決定

毎月のスピーカー、宮田悠佑氏（6月）、末松智氏（8月）、出村まさと氏（11月）、岡田仰牧師（12月）の各氏を招待する。

② 北ワイズの近況について

入院中。少し長引きそうなので、講義会員に転向の希望を承認し、西日本区への手続きをする。

③ クリスマス例会の打ち合わせについて。

ホテルトラスティでのクリスマス例会は初めてであり、宴会室ではなく、カフェになるので、山内、数澤メットが、後日ホテル側と詳細な打ち合わせを行う。

山内ミハル 記

~~~~~YMCAからのお知らせ~~~~~

☆ユニセフ募金について

毎年行われていたユニセフの街頭募金ですが、今年は新型コロナ感染予防の為、中止することになりました。

Happy Birthday

朝倉みゆきさん	12月23日
北 佳子さん	12月3日

1月の担当

司 会	伊藤 仁信君
ブリテン	数澤 輝夫君
	吉川與志子さん



メ ネット 報



「何を思っているのでしょうか」

ナンバンギセル（オモイグサ）：園芸書によりますと【アジア東部・南部の熱帯から温帯に広く分布し、ススキ、ミョウガ、サトウキビ、アワ等の根に寄生する1年草。葉緑がなく全体が黄色。茎、葉は短くほとんど地上に出ない。

花茎は高さ15～20cm。花は秋。花冠は長さ3.0～3.5cmで5裂。果実は円く、種子は微細。



和名：南蛮煙管は草の形をマドロスパイプに見立てた。別名：思草は万葉集の歌にあり、頭をかたむけ物思いにふける様にたとえた。】

十数年前、旧観光会館の山野草展を見に行った時、脇の目立たない机の上に、葉包みした種が売っていました。知らない花でしたので好奇心で買いました。翌年、ススキとミョウガの葉が出た頃に、細かい種で加減が分からないので、あるだけ全部まきました。葉も茂り忘れていたある日、間に首を伸ばしているのを見つけました。大変うれしく大発見した様な気になり、なるべく陽が当たる様かき分けました。それから毎年何か気に入って育てています。今年はJR金沢駅西口広場のススキの下にもある事がわかりました。ぜひ万葉集にどのように載っているのか学びたいと思います。もし育ててみようと思われる方がいらっしゃいましたら、種を差し上げます。

北 佳子記